

スモン患者の鍼灸マッサージ受療回数 —アンケート調査—

小長谷正明（国立病院機構鈴鹿病院）

山方 郁広（国立病院機構鈴鹿病院）

研究要旨

要旨 2015 年 2 月にスモン患者の鍼灸マッサージ公費負担に対する郵送アンケートを 1610 人に行った。回答率は 55.3% で、制度の周知率は回答者の 58.4% であり、受療者は全回答者の 38.9% であった。受療回数が公費負担限度の 7 回を超える人は 9.3% であり、受療者の 23.8% であった。受療回数紅陽負担の増加を希望する自由記載も多く、スモン患者の鍼灸マッサージのニーズ及び、公費負担回数増の希望は少なくなかった。また、制度の周知率向上も必要と考えられた。

A. 研究目的

鍼、灸、マッサージは、スモンの症状である、痙縮やしめつけ感などの異常感覚の緩和作用があると考えられ、スモン患者では月 7 回までが公費負担となっている。しかし、より多くの施療回数を望む声もある。そこで、受療回数の実態を明らかにするために、アンケート調査を行ったので、報告する。

B. 研究対象と方法

2015 年 2 月に健康管理受給スモン患者 1610 人を対象に、以下の項目について郵送によるアンケート調査を行った。

- 1) スモン患者の鍼灸マッサージ公費負担制度について知っていたか。
- 2) 鍼灸マッサージを月何回受療していたか。
- 3) 支払方法は公費か自費か？
- 4) 鍼灸マッサージ公費負担制度についての意見（自由記載）

C. 研究結果

1610 人中 891 人から回答があり（回答率 55.3%）、うち 5 名が死亡していた。

- 1) スモン患者への鍼灸マッサージ公費負担制度を

知っていたは 886 人中 517 人（58.4%）、知らなかったは 359 人（40.5%）であった。残り 10 人（1.1%）は無回答であった。

- 2) 1 ヶ月の受療回数を表 1 に示す。知っていた 517 人中 271 人（52.4%）が受療しており、知らなかった 359 人中 72 人（20.0%）が受療していた。全体では 886 人中 345 人（38.9%）が受療していた。264 人（回答者全体の 29.8%、受療者の 76.5%）が 7 回以下の施療を受けており、82 人（回答者全体の 9.3%、受療者の 23.8%）が 7 回を超える施療を受けており、最高は 13 回であった。

- 3) 支払方法で、全額自費は、制度を知っていたでは 45 人（知っていた受療者の 16.6%）、知らなかったでは 22 人（知らなかった受療者の 30.9%）であった。そのほかの支払（一部自費を含む）は、医療保険が多かった。

- 4) 鍼灸マッサージ公費負担制度についての意見の記載は、制度を知っている人 102 人から 130 件、制度を知らなかった人 26 人から 29 件寄せられた。その内容を表 2 に示すように、知っていた人は 6 項目に、知っていなかった人は 5 項目にカテゴライズして集計した。知っていた人では制度上の問題が最多で 38 件あり、この問題のうち、施療回

表 1 受療回数

	知っていた	知らなかった	無回答	合計
受療（＋）	271	72	3	345
3 回以下	33	23		56
5 回以下	84	21		105
7 回以下	96	5	2	103
9 回以下	32	12	1	45
10 回以上	26	11		37
受療（－）	245	269	2	516
無回答	1	18	5	24
合計	517	359	10	886

表 2 制度についての意見

制度を知っていた人

	件数
自宅から遠方など距離的な問題	15
移送方法が無いなど交通手段の問題	14
付き添いが必要など介護力の問題	13
費用が高額になるなど経済的な問題	31
法律や回数の制限など制度上の問題	38
その他	19

制度を知らなかった人

	件数
公費負担などの制度を知りたい	11
利用方法などの手続きについて知りたい	6
利用できる施設や病院を知りたい	4
外出支援など移送サービスを知りたい	1
その他	7

数の増加を希望するものは 25 件であった。また、31 件が、費用が高額になるなどの経済的な問題であった。知らなかった人では、公的負担などの制度や手続き、利用できる施設を知りたいが併せて 21 件と、大部分であった。

灸マッサージ公費負担制度はもとよりスモン患者が利用できる様々な福祉制度についての、行政による周知・広報が必要だと考えられる。

今回報告したアンケート調査は、2015 年に行ったものであるが、基本的には現在も同じ傾向を示していると考えられる。

D. 考察

このアンケートの回答者の 38.9% が鍼灸マッサージを受けており、スモンの症状緩和に効果があると推察される。施療回数は、公費負担上限の月 7 回を上回る人が、回答者全体の 9.3% おり、さらに、施療を受けている人の中の 23.8% いた。この制度を知らなかった人の 20% は、自費や医療保険などを利用して独自に受療しており、このうちの 31.9%（23 人）が月 7 回を超えていた。自由記載においても、施療回数の増加を希望する書き込みがかなりみられ、スモン患者の鍼灸マッサージのニーズ及び、公費負担回数増の希望は少なくはないと考えられ、施策の反映が期待される。

制度の周知率は 58.4% であり、制度を知らなかった人の中には、具体的な制度の詳細、利用方法などを知りたいという希望が少なくなかった。スモン患者の鍼